

～犬・猫の健康を守るために～

ペットフードについて考えよう

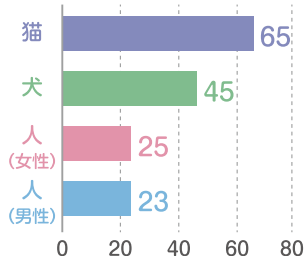
栄養が偏っているかも…?



犬は雑食!猫は肉食!

■ 1,000kcalの食事に含まれるたんぱく質の推奨量の比較

犬と猫では、必要な栄養素の割合が大きく違います。



塩分の取り過ぎ…?

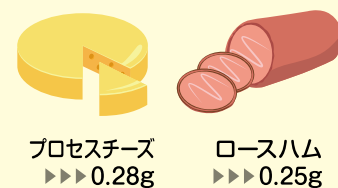


人の食べ物は犬猫にとって塩分が多く、肝臓や心臓に負担をかけてしまいます。

体重5kgの犬猫(避妊去勢済み)の1日の塩分摂取量の目安

犬	猫
0.18g	0.33g

■ 塩分の多い食べ物の例(10gあたりの食塩量)



年齢に合ったペットフードかな…?



年齢と共に、食事量や栄養素のバランスも変化します。

■ 猫の成長に合わせた食事の例

消化吸収のよいやわらかいもの

体作りに必要な栄養素が豊富なもの



離乳期
生後20～60日程度

成長期
生後50日～1歳程度

体重の増加・減少に留意したもの

体の機能維持を支えるもの



成猫期
1～6歳程度

中高齢期
7～10歳以降



おやつのもらい過ぎ…?



おやつは1日に必要なカロリーの**20%**までを目安にしましょう。

与えすぎは、偏食の原因やしつけの妨げになります。

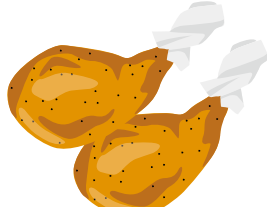


犬・猫に与えてはダメな食べ物

※この他にも犬猫の体調や与える量によって注意が必要なものがあります。



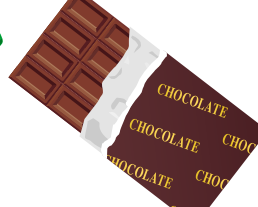
生の魚介類



鶏の骨



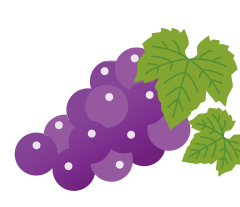
タマネギ/ネギ
ニラ/ニンニク



チョコレート



キシリトール
入りのガム



ブドウ
干しブドウ



不明な点はかかりつけの獣医師に相談しましょう。

適切なペットフードを与え、犬猫の健康を守るのは飼い主の責任です!

環境省は、ペットフードの安全性を確保することを目的とした法律(通称:ペットフード安全法)を所管しています。

※法律の対象となるのは、犬と猫のペットフードです。



環境省

■ 詳しくは環境省HPをご覧ください!

環境省 ペットフード

検索

